



MIKURO SPRING



本社工場（2024.8月移転）

- 本社所在地：長野県諏訪市
- 事業概要：精密ばね製造
（半導体関連に使用される超精密ばね等）
- 常時使用する従業員：145名
（2025年12月時点）
- 現在の売上高：26億円
（2025年3月期）
- 法人番号：9100001018683
- Web：https://www.mikuro-spring.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小島 拓也

超微細ばねのリーディングカンパニーとして半導体分野を始めとする日本の最先端技術分野の発展に寄与する存在となる

1. 当社は、世界における超微細ばね製造のリーディングカンパニーとしてのポジションを確固たるものとするものとし、必要とされる成長分野に最先端製品を届けることで売上高100億円を目指す
2. 製品の高度化と安定供給能力の更なる向上により、日本が最先端分野の先頭に立ち続けられることに貢献する
3. 成長していく過程で従業員とその家族の幸せを追求し、地域への貢献も果たしていく

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

年率20%以上の増収を維持し、2032年に売上高100億円を達成、同年の売上高120億円の目標を達成する

課題

1. 最先端設備の増強を続けなければならず、新工場の取得も検討課題となる可能性が高い
2. 超微細製品の加工、洗浄、検査などを行うことができる人材を確保し、育成をしていく必要がある
3. ボトルネックとなり得る処理加工能力の向上または内製化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1. 設備投資により売上年率を上回る水準の増産可能数量を維持して試作対応力も高め、新規受注を逃さない
2. 世界の最先端産業の動向を常にウオッチして自社製品の立ち位置を確かめ、製品開発にも反映させる
3. 毎年10名程度の若手人材を確保して育成を進める
4. 外注先との協働や内製化により処理加工能力の向上を図る
5. 子会社を通じ、中国の巨大市場での展開拡大を図る
6. 医療、ロボティクスなどの新分野開拓を強力に進める

実施体制

- ・生産設備増強に合わせて人材確保を進め、製造部を中心に関連部署の連携強化により半導体関連分野の量産対応力と試作能力を高め、2032年まで年率20%以上の増産を達成する
- ・技術部を中心とした外注先との協働研究や工程改善、内製化推進などによって処理加工能力と精度を向上させていく
- ・営業部が中心に海外も含めた展示会出展や情報収集を行い、医療やロボティクス関連などの新規分野の受注獲得を進める
- ・社長が常にセールスおよび情報収集の最前線に立つことで迅速な意思決定によってチャンスを逃さない体制を維持する

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです